

<学力調査>

国語A (主として知識にかかわる問題)

- ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する
- ・相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す
- ・全体と部分との関係に注意して話を構成する
- ・文脈に即して漢字を正しく読む

成果が見られる
おおむね達成されている主な設問

国語B (主として活用にかかわる問題)

- ・文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える
- ・目的に応じて必要な情報を読み取る
- ・文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く
- ・文章の展開に即して内容を理解する

課題が見られる
主な設問

- ・文の成分の照応について理解する
- ・文字の形や大きさ、配列に注意して書く

主な改善策

- ・文の成分の用語や関係の意味を理解する学習の一層の充実
- ・正しい筆順で書くことや、平仮名の筆遣いや筆脈を理解して書く学習の一層の充実

数学A (主として知識にかかわる問題)

- ・正の数と負の数の加法の計算ができる
- ・整数の加法と減法の計算ができる
- ・2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる
- ・空間における直線と直線との位置関係（辺と辺がねじれの位置にあること）を理解している

数学B (主として活用にかかわる問題)

- ・与えられた情報から必要な情報を整理し、的確に処理することができる
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。

- ・反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表す
- ・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる

- ・筋道を立てて考え、証明することができる
- ・与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる

- ・グラフから式や座標を求める問題など、「表・式・グラフ」を互いに関連づけた学習の一層の充実
- ・「最頻値」「中央値」を代表値として資料を読み取る学習の一層の充実

- ・結論を導き出すために何を示せばよいのかなど、証明の流れの見通しを持たせる指導の工夫
- ・3年間を通じ、文字を使うことによる実感できる学習の一層の充実

<質問紙調査>

肯定的な回答の割合が高い設問

- ・朝食を毎日食べる、毎日同じ時刻に起きる
- ・家庭学習で宿題に取り組んでいる
- ・学校の規則を守る
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う、人の役に立つ人間になりたい
- ・先生は自分のよいところを認めてくれていると思う

肯定的な回答の割合が低い設問

- ・人前で自分の考えや意見を発表する
- ・家で計画を立てて勉強をしたり、授業の予習（復習）をしたりする
- ・地域の行事に参加している
- ・新聞を読んでいる

その他

- ・平日に2時間以上テレビやビデオなどを視聴する・・・52.2%
- ・平日に2時間以上テレビゲームをする・・・46.9%
- ・平日に1時間以上勉強をする・・・50.4%

<学力向上に向けた今後の取組>

- 1 「楽しい」「分かる、できる」を実感させる授業づくり**
 - ・日々の授業の一層の改善充実 ～生徒の自己存在感を高め、学ぶ意欲を引き出す授業づくりに向けた校内研修の一層の充実
 - ・生徒同士の「学び合い」を重視し、生徒が疑問点などをその時間の中で解消できる指導方法の工夫
- 2 落ち着いた学習環境づくり**
 - ・チャイム着席などの学習規律の徹底と継続指導
 - ・学級活動や学校行事等を通じた、互いのよさや違いを認め合う望ましい集団づくり
- 3 基本的な生活習慣（学習習慣を含む）の確立**
 - ・家庭との連携のもと、メディア（テレビやテレビゲーム、携帯電話・スマートフォン）に触れる時間のコントロールに向けた指導の充実
 - ・計画的に予習・復習に取り組むことなど、家庭学習習慣の確立に向けた指導の充実
 - ・校区5小学校との連携のもと、義務教育9年間を見通した生活習慣・学習習慣づくりの指導